

動物公園で実施したイベントを紹介します イベント実施報告

「動物たちの公開測定!」を開催しました!

11月1日の計量記念日に合わせ、10月31日(土)と11月1日(日)に「動物たちの公開測定!」を行いました。計量記念日は、経済産業省が計量法を適切に実施し、計量の大切さを広めることを目的に平成5年11月1日に制定されました。料理をする時に材料を量る、自分の体調を把握するために体重や身長、体温を測るなど、私たちの生活の中で「計量」はとても身近なことですが、動物たちを飼育する上でも定期的な計量は欠かせません。

①体重や体長を測る

健康管理の中でも基本中の基本。エサをきちんと食べ、それが栄養となっているかなど、健康状態を知るための指標となります。また、薬を与える際に体重がわかっていると、より正確な量を与えることができます。

今回は、レッサーパンダ、コアラ、インドゾウ、アルダブラゾウガメ、アフリカニシキヘビの体重と体長を計測しました。どの個体も問題なく、健康に生活できていることがわかり、ご覧になっていた皆さんから拍手が起こることもありました。



▲自ら体重計に乗ります



▲コアラは飼育員が抱えて計量



▲アンリーは3,500kgありました



▲サクラは85.8kg、抱えるのも大変!

②ニワトリの15倍!?卵の重さを量る

体重とは少し異なりますが、ダチョウの卵の重さも量ってみました。ダチョウは世界最大の鳥類です。卵もさぞかし大きいんだろうな!という期待通り、ニワトリの卵と比較するととても大きいことを知っていただくことができました。



くねくね曲がるので測るのが至難の技▶
4.42mありました!



今回行った体重や体長測定以外にも、動物園では動物たちの健康を様々な角度から支える「計量」がたくさんあります。みなさんも気付かないうちに色々な計量を行っていると思いますので、それがどのように役立っているのかを考えてみませんか?



鹿児島市 平川動物公園

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328
■開園時間:午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)
■休園日:12月29日~1月1日
URL <http://hirakawazoo.jp/>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>

携帯サイトへ
アクセス!



編集・発行

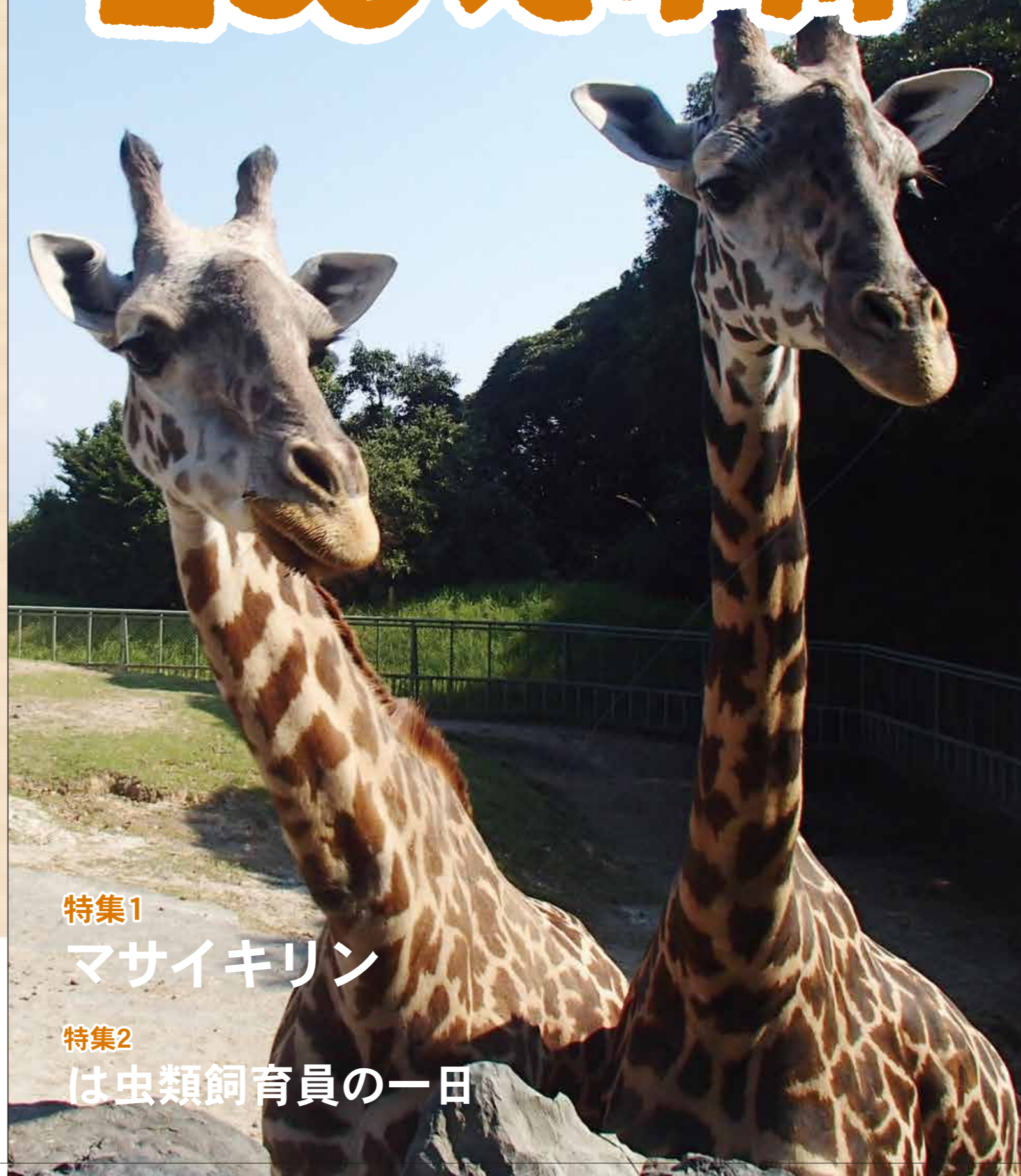


〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690
URL <http://k-kouenkousya.jp>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

鹿児島市平川動物公園情報誌

2016 vol.10

ずん Zooっと平川



特集1

マサイキリン

特集2

は虫類飼育員の一日



特集1 マサイキリン

マサイキリン 学名: *Giraffa camelopardalis tippelskirchi*
 偶蹄目キリン科 英名: Masai Giraffe
 分布: アフリカ(サハラ砂漠以南)
 ケニア山の北斜面からキリマンジャロ山、タンガニーカ中央部まで生息。世界で最も背の高い動物です。他の草食動物が食べることができない高い木の葉や若芽を採食するのに適した体格をしています。乾燥したサバンナや木がまばらに生えている地帯に群れで生活しています。

個体紹介



▲ハート:オス5才

出生地: 静岡市立日本平動物園生まれ
 生年月日: 2010年1月20日
 2011年11月29日来園
 人懐っこい性格で興味があるとすぐ寄ってきます。



▲アヤメ:メス20才

出生地: 当園生まれ
 生年月日: 1995年6月29日
 おっとりとした性格でマイペース。食いしん坊ですが、ハート君のよいお姉さんのようです。

キリンのエサ

動物園で与えているエサは乾草(ルーサン)や固形飼料(ペレット)、木の葉を与えています。

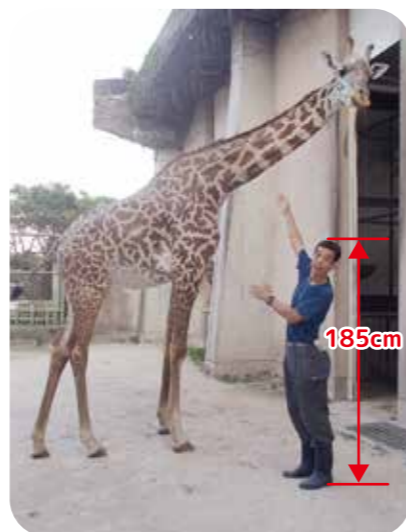


キリンの糞

キリンは歩きながらも糞をします。体格のわりに小さな黒豆のような糞をします。



飼育員との背比べ!



アヤメは体高4mあります。

むしゃむしゃしているのは何? 反芻(はんすう)

キリンは反芻動物です。4室に分かれた大きな胃を持っています。第一胃には無数の微生物がいて、その動きにより消化しにくい植物繊維の分解を助けます。近くで見ると首の中を吐き戻したかたまりがゆっくり上下するのを観察できます。

キリンの体にズームイン!



目: 顔の横にあり、まわりをよく見ることができます。離れた場所の飼育員もすぐに見つけます。

耳: キリンは憶病な動物です。耳を動かして常に警戒しています。

鼻: 鼻の穴は自由に閉じることができます。暑い日には大きく広げています。

口: 長い舌は40cmくらいよく伸びます。口が届かない高いところの枝葉も舌を伸ばして引き寄せて食べます。

角: オスにもメスにもあります。骨が成長と共に大きく伸びたものです。

歯: 門歯と犬歯は下あごにだけあります。奥歯は頑丈でかたい葉などをすりつぶすのに適しています。歯は全部で32本あります。

首: なんとといっても1番の特徴です。約2mありますが首の骨の数は多くの哺乳類と同じ7個です。個々の骨がとても長く、約25cm以上あります。ちなみに人の首の骨は、ひとつ2cmほどしかありません。

尾: 先には長い黒い毛があり、ハエなどの虫を追い払うのに使います。



体の模様

キリンの模様は木のかげに入ると葉や枝にまぎれて、さらに木の明暗の中に溶け込んでしまうので外敵から身を守るカモフラージュの役割もあります。親子でも模様の形は違うので個体識別の指標にもなります。

知ってもらいたい日本のキリン事情

日本には、アミメキリンとマサイキリンの2亜種が飼育されています。この2亜種は体の模様で区別することができます。アミメキリンは網目模様がはっきりし、マサイキリンは不規則な星形のような模様です。平川動物公園ではマサイキリンを開園当初から飼育しており、現在は2頭います(オス1、メス1、計2頭)。日本での飼育頭数はマサイキリン10頭、アミメキリン142頭(2015年10月31日現在)で、アミメキリンが主流となっています。マサイキリンからアミメキリンに飼育を切り替える園館もあり、繁殖が難しくなっています。将来、日本でマサイキリンを見ることができなくなってしまうかもしれません。

飼育員からひとこと

平川動物公園のキリンはとても人懐っこい性格です。タイミングがよければ近くに寄ってきてくれます。桜島をキリマンジャロに見立てたアフリカ草原ゾーンでゆったりとすごしている動物たちをどうぞご覧ください。

担当者: 増満、細田

コアラのこどもの名前決定!!



命名者の方々と記念撮影(左ユメ・右コロ)

2014年秋と2015年の始めに生まれたコアラのこどもたちの名前が決定しました。全国から寄せられた4,856通もの応募の中から選ばれた名前は、男の子がコロ、女の子がユメ。10月25日(日)の命名式で多くの方に祝福されながらお披露目されました。



ユメ 父:フランク・母:ブランディ
2015年1月2日生まれの子
甘えん坊でお母さんにべったりでした。時には飼育員にもじゃれついてきます。お母さん似の色白美人です。

コロ 父:フランク・母:ココロ
2014年11月22日生まれの子
名前のおり"コロ"とした体形がぬいぐるみのよう。食欲も好奇心も旺盛で大物になりそうな予感。

飼育員からひとこと

平川動物公園では約3年ぶりに袋(育児嚢)から出てきた赤ちゃんコアラたち。飼育員にとってワクワクとドキドキの毎日でしたが、ようやくここまで成長してくれました。平川動物公園の、そして、日本のコアラの未来を支えてくれるであろうコロとユメの成長と活躍を、これからも応援よろしくお願いします。

担当者:永榮、菊村

新しい仲間がやってきた



◀メス

◀オス

コシジロヤマドリ
学名: *Syrnaticus soemmerringii ijimae*
英名: White-rumped copper pheasant
キジ目キジ科
分布:九州南部(熊本、宮崎、鹿児島)

よく茂った山地に生息し、主に地上で暮らしています。オスは全身が赤褐色で尾羽が伸長し、90cm近くになることもあります。一方メスは、黒褐色でオスに比べて地味な体色をしており、尾羽も伸長しません。九州南部に生息する本種は腰の白い羽が特徴で、ヤマドリ5亜種の中でもひととき美しいです。近年、狩猟圧や生息域の環境悪化により生息数が減少しています。このペアはヤマドリ研究家の伊達氏と遠藤氏のご協力のもと展示できる運びとなりました。ちなみに展示個体の先祖は平川動物公園でかつて飼育繁殖された個体であり、両氏のご厚意により里帰りが実現しました。警戒心が強く、野生下ではじっくりとその姿を観察することは困難です。動物公園ではケージ越しではありますが、美しい体色と優雅なたたずまいをじっくり観察することができます。今後は繁殖を計画的に進めていく予定です。ご期待ください。

2015年に行った調査研究発表を紹介

動物園は飼育展示を行うだけでなく、様々なデータを収集し調査研究を行う場でもあります。最近の研究発表について紹介します。

	発表タイトル	会議・研究会名	開催場所	発表者
1月	鹿児島市平川動物公園における県内希少種の飼育展示	ルリカケス繁殖検討委員会現地説明会	鹿児島県奄美市	落合晋作
10月	平川動物公園における傷病鳥獣保護について	平成27年度奄美希少野生生物保護増殖検討会	鹿児島県奄美市	落合晋作
	桜島の火山活動が動物園へ及ぼす影響	第63回動物園技術者研究会	千葉市動物公園	落合晋作
	九州沖縄地域におけるチンパンジーの飼育実態調査	第63回動物園技術者研究会	千葉市動物公園	福守朗、森村成樹(京都大学野生動物研究センター熊本サングチュアリ)
11月	放射温度計を用いたアジアゾウの体温測定	第25回ゾウ会議	盛岡市動物公園	落合晋作、寺原三千男、松元悠一郎、鈴木大河
	ボルネオ・エコツアー研修報告	第18回SAGAシンポジウム	京都市動物園	松元悠一郎
	九州沖縄地域におけるチンパンジーのメスの繁殖状況	第18回SAGAシンポジウム	京都市動物園	福守朗、森村成樹(京都大学野生動物研究センター熊本サングチュアリ)

今後も動物たちが健康に暮らせるよう、また種の保全などに向けた調査研究を進めていきます。

飼育員の一日



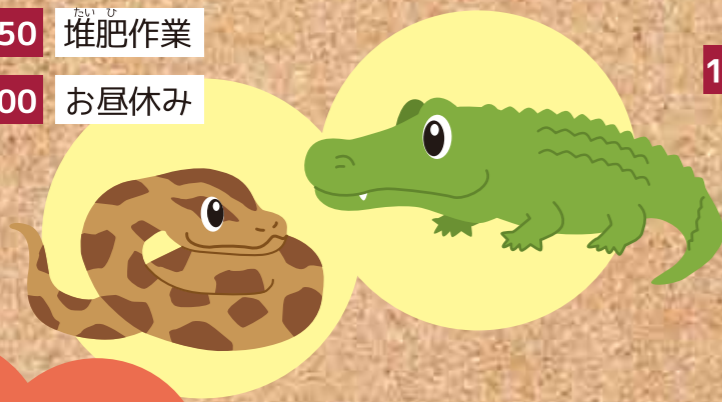
は虫類
飼育員の巻



平川動物公園には14種28頭のカメやヘビなどは虫類が暮らしています。は虫類館を担当する飼育員の一日を見てみましょう。

ある日のスケジュール

- | | |
|----------------------------------|--|
| 8:15 朝の巡回と様子観察
気温のチェック | 13:00 ミーティング |
| 8:30 朝のエサの準備 | 13:15 動物の状態確認、気温チェック |
| 9:00 ワオキツネザル、リスザルなどの給餌、掃除 | 13:30 夕方のエサの準備 |
| 9:30 は虫類の給餌、掃除、日光浴 | 15:00 ハナジカの給餌 |
| 10:15 猛禽類、フラミンゴの給餌、掃除 | 15:30 リスザルの収容、給餌、掃除 |
| 11:00 ハナジカの給餌、掃除 | 16:00 ワオキツネザル、フクロテナガザルの給餌 |
| 11:50 堆肥作業 | 16:30 は虫類展示場の温度チェック、アルダブラゾウガメの収容、掃除 |
| 12:00 お昼休み | 17:00 日誌の記入 |



飼育担当者：野元武、河野めぐみ
私たちが2人で担当しています。は虫類の他にワオキツネザル、ポリビアリスザル、チリーフラミンゴなどを担当しています。



他にも
してます。
こんなこと。

ミシシッピワニのお食事ライブ



毎週土・日・祝日の14:00～
ミシシッピワニの解説をした後にエサを与えます。いつもは物静かなワニがこの時だけは野生の本性むき出しで動きます。今にも向かってきそうなワニに来園者も大興奮!!

トビのトレーニング



2013年にケガをし保護された「ビイト」。
来園した時は飼育員が部屋に入るだけでも大暴れ! 治りかけの傷口からすぐに出血することもしばしば…
トレーニングにより人との接触に慣れ、暴れることもなくなりました。また、来園者に身近にみてもらうことにより、「かごんまにも、こげなとりがおっとけ〜?」と伝えるのも、飼育員の仕事です。時折、出張講座にも出かけることもあります。

肉切(エサの準備)

週に2回、エサ用のブロイラーを解体します。おかげで、女子力アップ??



8

11:00～
ハナジカの給餌・掃除

広い!広い!!広～～い!展示場。繁殖期(10～12月)にはオス同士の闘争もしばしば。注意をしながら、掃除をします。



9

11:50～
堆肥作業

集めた糞をコンテナに入れて回収してもらいます。これが肥料になります。

13

15:00～
ハナジカへ給餌

朝は固形飼料、夕方は乾草(乾燥させた牧草)を与えます。時には園内の木を切って与えることも。



14

15:30～
リスザルの収容・給餌・掃除

「おかえり～」!たくさん遊んだら、家の中でゆっくりエサを食べなさ～～い。



15

16:00～
ワオキツネザル・フクロテナガザルの給餌

ワオキツネザルが、大好きなバナナをほおぼる瞬間を見られるチャンス!!



18

退社

動物園から病原菌などを持ち出さないように、お風呂に入って帰ります。お風呂の中でも、動物の話ばかり・・・みんな動物が好きなんだな～

10

12:00～
昼休み

昼からの作業に向けてモリモリ食べます。たまに園内レストランにも行きます・・・美味しいメニューがたくさんあります!

11

13:00～
ミーティング

体調の悪い動物についてや赤ちゃんが産まれました!などの情報をスタッフ全員で共有します。



12

13:30～
夕方のエサ準備

キャベツを5～7玉(5.5kg)毎日、みじん切りにします。おかげで、女子力アップ?



16

16:30～
は虫類の温度チェック・ゾウガメの収容

ちょー重たいゾウガメを部屋に収容する時間です。戻らない時にはスタッフで持ち上げて戻すことも(一番重いサクラは90kg近くあります)



17

～ 17:00
日誌の記入

今日1日あったことを飼育日誌に記入します。今日も、1日、異状な～～し!!

担当する不思議な仲間たち

トキイロコンドルの「サラ」



全国で2羽しかいません。開園43周年を迎えた平川動物公園ですが、39年間飼育をしています(平川動物公園で一番長いです)まだまだ元気なサラさんをよろしくお祈りします。

セマルハコガメ



他のカメよりも、防御力!が高いです。頭、四肢を引っ込めるだけではなく、腹甲が蝶番のように折れ曲がり隙間が少なく頭と四肢が収容されます。

ワニガメの「ブッチャー」



大きさはギネス級??何年前にアメリカで甲長40cm体重60kgのワニガメが見つかり、ちょっとした話題になったのですが・・・ブッチャーはその2倍近くあります(甲長75cm、体重113kg)。どんだけ～～

ホウシャガメ



メスのマリラはちょっとした経歴の持ち主。30年前に指宿市の街を散歩!?しているところを保護されて来園。20年ほど前には園内で誘拐されたことも・・・1週間ほどして無事に帰ってきたそうです。

飼育員からひとこと

は虫類担当の我々ペアは、当園で一番担当している動物種が多いです。大変なこともあります。その分、様々なシーンに巡り合え、勉強をさせてもらえるのです。表情をあまりだしてくれない、は虫類たちの気持ちが分かったときの嬉しさといったら、もう格別です。

これからも、常に動物の気持ちになって飼育に励みたいと思います。





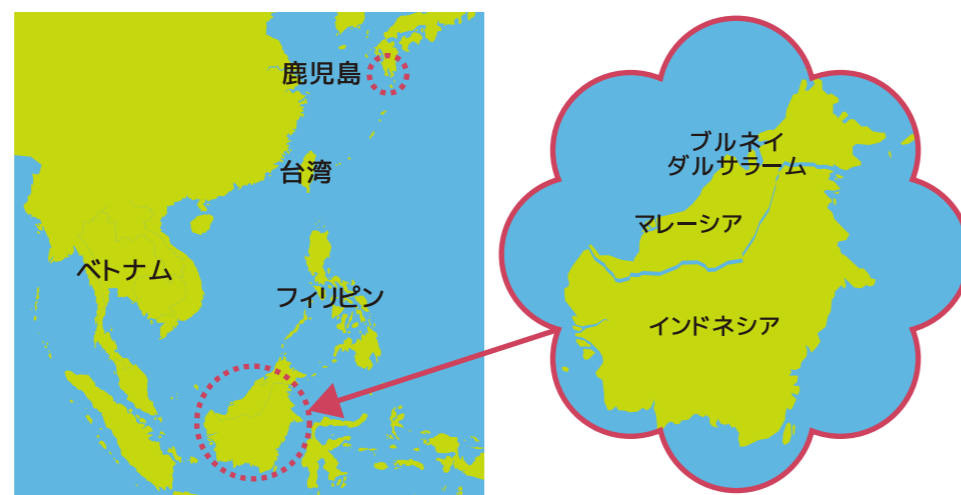
松元飼育員が ボルネオ島に行ってきました



平成27年8月7日(金)～13日(木)に、ボルネオ保全トラストジャパン(以下BCTJ)の主催するボルネオ・エコツアー研修に参加したのでその内容について報告します。

★ボルネオ島って?

ボルネオ島は日本から直行便で約7時間半の東南アジアに浮かぶ熱帯地域の島で、インドネシア、マレーシア、ブルネイの3ヶ国からなり、今回はボルネオ島の中でもマレーシア・サバ州を中心に視察しました。



★ツアー内容

オランウータン、マレーグマ、ボルネオゾウ、サイチョウなどを研究、保護する施設や熱帯雨林を徒歩や船で移動しながらの動物観察、現地の動物園や植物園見学など様々です。
また、熱帯雨林再生のための植林活動も行いました。

月日	内容
8月7日	関西空港から出発、クアラルンプール経由でボルネオ島コタキナバルへ
8月8日	セピロック・オランウータン・リハビリセンター、マレーグマ保護センター、レインフォレストディスカバリーセンター見学
8月9日	BESレスキューセンター見学、リパークルーズ、ジャングルウォーク
8月10日	植林活動、ナイトクルーズ
8月11日	早朝クルーズ、オランウータン吊り橋見学、HUTAN訪問、リパークルーズ
8月12日	ロッカウィ・ワイルドライフパーク見学
8月13日	コタキナバルから関西空港へ

★訪問地、活動の一例

<BES レスキューセンター>

日本からの支援によって2014年9月に完成したボルネオゾウを一時的に保護、飼育し、再び野生復帰させるための施設です。現在、アブラヤシ農園の増加に伴う森林伐採などの影響で、野生のボルネオゾウが人里に姿を現すことが増えています。ゾウの居場所が無くなっているのです。



<植林活動>

キナバタンガン川沿いから消失してしまった熱帯雨林を再生させるために、苗を植え、将来の野生動物のすみかを作ります。15人ほどで約2時間かけ、108本の苗木を植えました。いつか大きく茂り野生動物たちのすみかとなってくれる事を願います。



★ツアー中観察出来た野生動物たち

哺乳類	鳥類	は虫類
オランウータン	コウハシショウビン	イリエワニ
ミューラーテナガザル	マレーウオミミズク	ミズオトカゲ
テングザル	ダイサギ	
シルバーリーフモンキー	カササギサイチョウ	
カニコイザル	サイチョウ	
マメジカ	クロサイチョウ	
ヒゲイノシシ		
パームシベット		など



▲野生のオランウータン



▲テングザル



▼ミューラーテナガザル



▲パームシベット

★ちょっと知ってほしいアブラヤシQ&A

<Q.アブラヤシとは?>

西アフリカ原産で果房からパーム油と呼ばれる油脂が作られます。インドネシアやマレーシアは栽培に適した環境であるために多くのアブラヤシが植えられています。

<Q.アブラヤシ栽培の問題点は?>

- ・森林を伐採して作るプランテーションによって熱帯雨林が消失してしまいます。
- ・動植物の暮らす生息地が伐採により減少・分断化される事により個体数が減少したり、遺伝的多様性が喪失してしまったり問題は様々です。

<Q.私たち日本人とも無関係では無い?>

2012年の日本のパーム油輸入量のうち、87%(約50万トン)は食用で、1人あたりの年間消費量は約4kg。私たちの生活は、実はパーム油に支えられているのです。

★研修を通じて

現地で行われている植林などの環境保全への取り組みや、日本から行われている支援や協力体制などを知ることができ、動物園職員として出来ることを考えるきっかけとなりました。普段何気なく購入している食品類(マーガリンやカップメンなど)にもパーム油は含まれています。私たちの豊かな暮らしの裏側では、ボルネオ島で起こっているような問題があります。このようなことに目を向けてみることも大切なことかもしれません。

ボルネオツアーの詳細情報は平川動物公園 HPブログ まで→<http://hirakawazoo.jp/>